

名古屋市観光客・宿泊客動向調査

（平成24年度）

平成25年 10月

名古屋市市民経済局

目 次

1 . 観 光 統 計 に つ い て	1
(1) 調 査 の 目 的 と 全 国 観 光 統 計 基 準 の 採 用	1
(2) 入 込 客 数	1
(3) 観 光 消 費 額	4
2 . 調 査 の 集 計 結 果	6
2 - 1 観 光 客 の 現 状	6
(1) 調 査 の 概 要	6
(2) 調 査 結 果	8
2 - 2 宿 泊 客 の 現 状	29
(1) 調 査 の 概 要	29
(2) 調 査 結 果	30
2 - 3 宿 泊 施 設 調 査	49
(1) 調 査 の 概 要	49
(2) 宿 泊 施 設 の 現 状	50
(3) 宿 泊 客 数	52
2 - 4 全 国 か ら 見 た 名 古 屋 の 観 光 に 関 す る 評 価	62
(1) 調 査 の 概 要	62
(2) 名 古 屋 へ の 訪 問 状 況 と 観 光 資 源 の 認 知 度 等	63
(3) 名 古 屋 に 対 す る 評 価	74
(4) 観 光 振 興 に つ い て	86
3 . 資 料 編	92
(1) 主 要 観 光 施 設 へ の 入 込 動 向	92
(2) 名 古 屋 の ま ち の 印 象	96

巻 末 調 査 票

注 1 : 本文中で用いたテレビ塔、ブルーボネット、イタリア村、スカイプロムナードの正式名称は、それぞれ名古屋テレビ塔、名古屋港 ワイルドフラワーガーデンブルーボネット、名古屋港イタリア村、ミッドランドスクエア スカイプロムナードである。

注 2 : 表、グラフに記してある居住地別などの数値にはその項目の「無回答」が除かれているため、その合計と全体の数値が一致しない場合がある。

調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会（現 公益社団法人日本観光振興協会）が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上かつ、市外の観光入込客数が 2 割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成 24 年度）

1. 観光統計について

（１）調査の目的と全国観光統計基準の採用

調査の目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

全国観光統計基準の採用

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施策の企画立案に必要な基礎データを整備するため、愛・地球博開催を契機に平成 17 年度より、全国観光統計基準に準拠し、行・祭事、イベント、スポーツ、音楽・演劇等の都市観光を中心とする新たな観光地点を調査に加えた。平成 24 年度については、全国観光統計基準に適合する 86 地点の観光入込客数を把握した。

（２）入込客数

観光入込客延べ人数

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体からの入込客数の回答により、観光入込客延べ人数を算出した。平成 24 年度の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約 5,451 万人であり、平成 23 年度と比較して約 36 万人減少（対前年度比率 99.3%）した。

減少の要因としては、平成 23 年 3 月にプラネタリウムをリニューアルした「名古屋市科学館」、新規開館した「リニア・鉄道館」の入込客が落ち着いてきたことなどがある。

表 1-1-1 観光地点の分類別入込客数の推移

（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

全国観光統計基準に基づく分類		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
大分類	中分類				
学ぶ（見る・体験する）	自然				
	文化・歴史	(25) 21,251,645	(25) 21,187,666	(26) 20,983,337	(26) 21,478,478
	産業観光	(5) 1,499,021	(7) 1,617,800	(6) 2,509,590	(6) 2,199,456
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	(16) 11,992,827	(16) 11,350,923	(16) 11,573,957	(16) 11,470,269
	温泉				
	買物				
触れ合う（交流する）	行・祭事	(15) 7,929,956	(15) 7,943,392	(15) 7,003,732	(16) 7,873,300
	イベント	(23) 11,931,312	(22) 11,555,221	(21) 12,800,144	(22) 11,492,527
計		(84) 54,604,761	(85) 53,655,002	(84) 54,870,760	(86) 54,514,030

注：調査した観光地点数は、年度によって変動する。

観光入込客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、平均訪問観光地点数を設定し、観光入込客実人数を推計した。平成 24 年度の観光入込客実人数は 3,494 万人であり、平成 23 年度と比較して 168 万人増加（対前年度比率 105.1%）した。

表 1-1-2 観光入込客 延べ人数と実人数の推移

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
観光入込客延べ人数（人）	54,604,761	53,655,002	54,870,760	54,514,030
平均訪問観光地点数	1.66	1.52	1.65	1.56
観光入込客実人数（万人）	3,289 万人	3,530 万人	3,326 万人	3,494 万人

居住地別観光入込客数の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の観光入込客実人数を推計した。

表 1-1-3 居住地別観光入込客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客の居住地割合	100%	32.9%	67.1%
観光入込客実人数	3,494 万人	1,150 万人	2,344 万人

宿泊客実人数の推計

宿泊施設の現状調査の回答により、宿泊施設の延べ宿泊客数、宿泊客実人数、宿泊客平均宿泊日数を推定した。

表 1-1-4 宿泊施設の宿泊客数 延べ人数と実人数の推移

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
延べ宿泊客数（人）	5,786,316	5,960,567	6,674,019	6,950,791
宿泊客実人数（人）	4,604,248	4,608,978	5,192,149	5,796,736
宿泊客平均宿泊日数（日泊）	1.26	1.29	1.29	1.20

居住地別宿泊客実人数の推計

宿泊客の現状調査の回答により、宿泊客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客実人数を推計した。

表 1-1-5 居住地別宿泊客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客の居住地割合	100%	8.2%	91.8%
宿泊客実人数	580 万人	48 万人	532 万人

居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

観光入込客実人数から宿泊客実人数を差し引いて、日帰り客実人数を推定した。

観光入込客実人数を居住地別にみると、平成 24 年度の名古屋市内客は 1,150 万人であり、平成 23 年度と比較して 51 万人減少した。また、名古屋市外客は 2,344 万人であり、平成 23 年度と比較して 219 万人増加した

また、平成 24 年度の宿泊客実人数は 580 万人であり、前年度と比較して 61 万人増加した。平成 24 年度の日帰り客実人数は 2,914 万人であり、前年度と比較して 107 万人増加した。

表 1-1-6 居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
観光入込客実人数	計	3,289 万人	3,530 万人	3,326 万人	3,494 万人
	名古屋市内客	1,270 万人	1,405 万人	1,201 万人	1,150 万人
	名古屋市外客	2,019 万人	2,125 万人	2,125 万人	2,344 万人
宿泊客実人数	計	460 万人	461 万人	519 万人	580 万人
	名古屋市内客	29 万人	33 万人	25 万人	48 万人
	名古屋市外客	431 万人	428 万人	494 万人	532 万人
日帰り客実人数	計	2,829 万人	3,069 万人	2,807 万人	2,914 万人
	名古屋市内客	1,241 万人	1,372 万人	1,176 万人	1,102 万人
	名古屋市外客	1,588 万人	1,697 万人	1,631 万人	1,812 万人

(3) 観光消費額

観光総消費額の推移

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、観光総消費額を推計した。平成 24 年度の名古屋市内の観光総消費額は 2,895 億円であり、平成 23 年度と比較して 489 億円増加している。

宿泊客の総消費額は 1,504 億円であり、前年度と比較して 628 億円増加している。

日帰り客の総消費額について居住地別にみると、前年度と比較すると、名古屋市内は 144 億円減少、名古屋市外は 5 億円増加している。

表 1-2-1 観光総消費額の推移（推計値）

	居住地	平成 23 年度	平成 24 年度
宿泊客実人数		519 万人	580 万人
日帰り客実人数	名古屋市内客	1,176 万人	1,102 万人
	名古屋市外客	1,631 万人	1,812 万人
宿泊客一人あたり消費額		16,870 円	25,946 円
日帰り客一人あたり消費額	名古屋市内客	3,875 円	2,830 円
	名古屋市外客	6,582 円	5,959 円
宿泊客総消費額		876 億円	1,504 億円
日帰り客総消費額	名古屋市内客	456 億円	312 億円
	名古屋市外客	1,074 億円	1,079 億円
名古屋市内観光総消費額		2,406 億円	2,895 億円

観光消費額の内訳の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での各項目別の平均消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、名古屋市内での旅行費用項目別の消費額を推計した。平成 24 年度は設問を変更し、新たに入場料とその他の費用について調査した。

平成 23 年度のその他消費額は、総消費額から各項目別の消費額を差し引いた金額である。

平成 23 年度に比べ、食事費、土産費、宿泊費はそれぞれ減少しているが、総消費額は 489 億円増加している。

表 1-2-2 観光消費額の内訳の推移

	平成 23 年度	平成 24 年度
食事費消費額	868 億円	836 億円
交通費消費額	376 億円	378 億円
土産費消費額	592 億円	518 億円
宿泊費消費額	526 億円	469 億円
入场料消費額	-	330 億円
その他消費額	44 億円	364 億円
総消費額	2,406 億円	2,895 億円

表 1-2-3 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		市内居住	市外居住
食事費	7,442 円	1,072 円	1,581 円
交通費	2,246 円	397 円	1,124 円
土産費	4,730 円	329 円	1,148 円
宿泊費	8,081 円		
入场料	1,301 円	427 円	1,150 円
その他	2,146 円	605 円	956 円
合 計	25,946 円	2,830 円	5,959 円

表 1-2-4 旅行費用項目別総消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		観光客計
		市内居住	市外居住	
食事費総消費額	432 億円	118 億円	286 億円	836 億円
交通費総消費額	130 億円	44 億円	204 億円	378 億円
土産費総消費額	274 億円	36 億円	208 億円	518 億円
宿泊費総消費額	469 億円			469 億円
入场料総消費額	75 億円	47 億円	208 億円	330 億円
その他総消費額	124 億円	67 億円	173 億円	364 億円
観光総消費額	1,504 億円	312 億円	1,079 億円	2,895 億円